

**令和3年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 障害福祉 課

1. 基本情報

802

施設名	伊丹市立障害者福祉センター		
施設の設置目的	障がいのある市民の自立と社会参加の促進ならびに地域における交流の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：健康・医療・福祉 施策：障がい者福祉 実施施策：障がい者の地域生活支援体制の整備		
指定管理者の名称	社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市広畑3-1		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用人数 (単位：人)	
	指標の意味	年間の利用者数	
	今年度の目標値	60,000	今年度の実績値 46,587

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3(上期)	R3(通期)
	来館者数(人)		44,997	56,194	59,619	59,005	40,991	21,131
貸し室稼働率(%)		48	37	48	41	36	31	36
講座開催回数(回)		424	384	351	412	276	159	343
講座参加者数(人)		4,488	4,696	4,187	5,185	2,180	1,400	2,833

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	3カ年平均	
収入	使用料収入	775	531	560	622	
	事業収入	419	67	114	200	
	その他	10	0	0	3	
	指定管理委託料	56,970	61,902	62,375	60,416	
	①合計	58,174	62,500	63,049	61,241	
支出	維持管理	光熱水費	5,957	6,490	7,166	6,538
		清掃等委託料	15,638	14,377	14,832	14,949
		土地建物賃料	1,169	1,180	257	869
		修繕料	330	575	1,300	735
	運営	人件費	26,620	30,862	32,205	29,896
		事業等経費	5,711	5,602	5,412	5,575
		その他	1,126	1,471	1,220	1,272
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	56,551	60,557	62,392	59,833		
純収支(①-②)		1,623	1,943	657	1,408	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H28	H29	H30	R元	R2	R3
市の収入		1,579	1,039	1,584	709	746	873
(内、使用料収入)		1,008	974	997	242	217	233
市の支出		66,254	57,650	60,308	69,473	64,308	63,116
(内、指定管理委託料)		62,818	57,650	59,048	56,970	61,902	62,375
実質経費(歳出-歳入)		64,675	56,611	58,724	68,764	63,562	62,243

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	修繕について、障害福祉課と協議しながら実施した。適切な空調利用を推進した。	B	施設内は、日常清掃及び定期清掃滞りなく実施されている。また、施設内の修繕、インフラ環境の整備についても市への報告の上、適切に実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	一部、職員の欠員が生じたため、継続した採用活動を行い、補充した。	B	欠員を解消し、必要な配置がなされた。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防訓練を2回実施。	B	緊急連絡体制は整っており、避難訓練も実施された。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	アンケートを実施し、回答内容への対応を進めた。	B	アンケート及びセンター利用者等から構成する運営委員会を開催し、利用者の声を運営に反映するよう努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	計画通り実施。	B	研修・教室・交流啓発等計画的に実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	計画通り実施。	B	申請書類等は適切に管理されている。機関誌も定期発行されており、情報提供が行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	計画通り実施。	B	適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	概ね適正に施設の管理運営がなされている。各種交流・啓発事業・イベント・カルチャー教室等が計画的に実施されており、参加者から好評を得ている。また、年間を通して、コロナウイルスの影響を受けたが、市と連絡調整を緊密に行い、施設の感染拡大防止に関する方針を定め、施設の安全な管理運営が適切に実施された。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和4年2月22日～令和4年3月10日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	<ul style="list-style-type: none"> フリーWi-Fi環境があると活動しやすい。 ピアノが壊れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前申請制で、部屋使用時に使用できるように整備した。 新しいピアノを購入済。
回答者数		
86		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
年間事業報告書の提出が年度協定書に定める期日を経過しても提出されなかった、また「利用拒否等の件数及び理由に関する事項」について報告がなされていない。	報告にかかる運用体制の見直しを行った。